

〔東京桑野会〕

目白「つみれ屋」・

通称「いわしや」の

東京桑野会

東京桑野会副会長・副幹事長

櫻井 淳

(七十八期)

東京桑野会の総会は、例年目白の椿山荘で六月に開かれる。鬱蒼とした緑の庭、今年も蛍が舞い、東京の雑踏の中とは思えない素晴らしい環境である。竹花則栄(55期)先輩が長い間椿山荘の支配人をされていた関係で、特別扱いで使わせていただいている。竹花先輩はあのドラえもんこと故竹花先生の弟さんである。

今年も6月24日(土)に開催され、約150人が集まり、盛大におこなわれた。郡山から、桑野会の佐久間会長、関校長先生、校内幹事の土屋先生が来賓として来られた。今年に残念ながら、女子卒業生の参加者は無かったが、49期〜119期の70期にわたる卒業生が集まった。

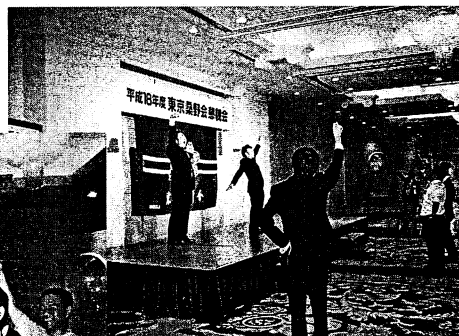
最近若手卒業生の参加が増えてきている。本当にうれしいことである。古川清会長を先頭に、

若手を増やす様々な努力が行われている。その最大の功労者は、ホームページの開設ではなからうか。今年の参加者の数は昨年より少ないかと斉藤幹事長が心配していたが、土壇場に来て、ホームページを見ましたという参加希望者が20人位いたかと思う。ウェブサイトの実力恐るべしである。この東京桑野会ホームページの開設物語を関係者として紹介したい。

東京桑野会の役員会(若手)とは言っても、もう副会長以下(50〜60歳代)であるが、いわゆる高校卒業世代は、総会終了後、椿山荘から目白駅へ、まだ総会の余韻が残り、頭の中には「紫の旗行くところ」のメロデーが、このまま山手線で家路に着くに惜しい、皆さんのご苦労さまも兼ねて、目白駅向かい側の鯛の専門飲み屋「つみれ屋」に行くのがここの数年の慣わしである。当時は皆若く、斉藤幹事長を筆頭に副幹事長や広報部会のまだ40〜50歳代で、終電近くまで頑張っていた。店には一年に一回しか行かないのに、店のお母さんが、毎年よく来るねーと覚えていてくれる。2階の座敷が貸切になることが多く、そこに86期の坂本さんを中心にした総会後の同期会が加わり、総会の後の通称「いわしや」は殆ど郡山弁が飛びかう、「いいでねーがい」。本宮派と須賀川派の勢力争

いや、最近郡山派が勢力を盛り返し等、楽しく会話が続く。出身中学やあそこの誰さんほうちの親戚とか、目白の駅前の飲み屋は郡山駅前の飲み屋と化す。

ホームページ開設はこの飲み会から始まった。



現役の大学生の応援歌



毎年86期の優秀なる後輩達がとにかく作りませんかと、特に芳賀さんが熱心で、こんなに安積を好きな人は91期の渡部良朋さんと双壁である。確かホームページの予算だけは取っていたが、会報作成だけでも忙しいのにと2年間は放置されていた。しかし、100期以上の若手が一緒での「いわしや」で、「作るべし」、「兎に角やってみっぺ」、「紫の旗行くところ」のメロデーと共に、「奮い立て我が健男児と」、決断がなされた。斉藤幹事長が熱心で、皆の尻を叩き、会報編集と別にホームページ委員会を立ち上げスタートした。インターネットで会合の予定を流すと、飛び入りの若手が突然現れたり、このメディアの凄さに感心しながら、現在に至っている。委員長の芳賀さんはもとより、若手にこんなに安積が好きな後輩がいたとは、安中世代の5年間で共に過ごした先輩諸氏ならともかく、高校世代でもと驚き、私にはマネが出来ないと圧倒される。

我々のホームページを、立ち上げからメンテナンスまで、本当にボランティアで出来ていると私の会社のスタッフに見せると、「なんですかこれは」と驚く。校歌や録音はどうしたのですかとか、詳しい話をするとさらに驚きで、ボランティアでこんなすごいホームページができ

るんですねと、どういう学校なんですかと聞かれる。自慢話はあまり聞きたくないが、お国自慢は許されると誰かが言っていたが。

「つみれ屋」通称いわしやは、我が東京桑野会の隠れた若手と役員のコミュニケーションの場であり、熱心な安積ファンを見つけ出す場である。「人買いの櫻井」と言われた癖はまだ抜けていないようで、芳賀さんあたりにこの癖をうつしたいと思っている。東京桑野会は、高齢者の単なる思い出話の会にしないためにも、楽しい会であることを知らせたいのです。特に安積の人は本当に様々な分野で活躍しており、頼りがいのある先輩や若手が多数いることをホームページ上で知らせ、実際に会って話せる機会を総会だけでなく作りたいたいと思っている。



目白のつみれ屋で

3年前から、郡山市の景観審議会の委員になり、時々郡山に帰っている。私が専門としている都市デザインやまちづくりを評価されて選ばれたかと思っているが、どうも安積出身者であることも重要なファクターであるらしい。駅前のアーケードも、JC全国大会の開催に向けて新装された。このアーケードのデザインにアドバースできたことは、誇りに思っている。このアーケードは、わがホームページで駅前のライブカメラにリンクしており、建設状況が逐次見れる仕組みになっている。ホームページの新しい使い方に感心している。

また、このホームページは、会報の編集の身に大きな影響を与えている。昨年の特集は海外で活躍している卒業生を数多く紹介できた。これは海外で我がホームページを閲覧している人が多く、これに応えるべき企画としてできた成果である。

このように、目白駅前の「つみれ屋」から新しい東京桑野会のコミュニケーションツールが生まれた。皆様も是非「東京桑野会」で検索して、我がホームページをのぞきに来て下さい。また時間がありましたら、毎年6月の東京桑野会総会とその後「つみれ屋」で御一緒にしませんか。

(株)櫻井淳計画工房代表